

アウトモビリ・ピニンファリーナとボヴェ 1822 の新たなパートナーシップから生まれる革新的 デザインと華麗なエンジニアリング



- ピュアEVハイパーGT「バットィスタ」の量産仕様1号車の世界初公開を記念し、アウトモビリ・ピニンファリーナとボヴェ 1822がモンレーカーウィークにて新たなパートナーシップを提携
- 両社のコラボレーションを通じて、アウトモビリ・ピニンファリーナのバッジを冠する最初のクルマ「バットィスタ」を記念する画期的な新作タイムピースを今年後半に発表予定
- バットィスタの量産仕様1号車は、むき出しのブラックカーボンファイバー製ボディワーク、精密研磨加工が施された鍛造アルミ合金ホイール、インテリアのハイライトカラー「アイコニカ・ブルー」が印象的

(2021年8月13日、カンピアーノ/ジュネーブ) 本日、ボヴェ 1822(BOVET 1822)とアウトモビリ・ピニンファリーナ(Automobili Pininfarina)は、イタリア・カンピアーノで設計・製作されたピュアEVハイパーGT「バットィスタ」(Battista)の完成を記念してパートナーシップを提携したことを発表し、ボヴェ 1822とピニンファリーナの歴史に新たな1ページを刻みました。

新たなコラボレーションは、カリフォルニアのモントレーカーウィークで開催された特別イベントで正式にスタートしました。今年後半には他では見られない新作タイムピースが発表されます。

アウトモビリ・ピニンファリーナはモントレーカーウィークにてバットィスタの量産仕様1号車を世界初公開するとともに、限定モデル「バットィスタ・アニヴェルサリオ」(Battista Anniversario)を米国初公開し、先駆的なピュアEVハイパーGTの納車に向けて次の一歩を踏み出しました。

アウトモビリ・ピニンファリーナのパー・スヴァンテツソンCEOは次のように述べています。「アウトモビリ・ピニンファリーナはバットィスタの製作を通して、世界初のピュアEVラグジュアリーカーカンパニーとしての地位を確立しました。私たちの使命はサステナブルでありながらも、コレクションとして芸術価値のあるクルマを製作することであり、この使命に共感していただけるお客様を大切にしています。我々のチームメンバーは、世界最先端の電動パワートレイン技術に相応しく、心揺さぶるシームレスでピュアなラインを組み合わせてバットィスタを美しく仕上げることに挑みました」

「ボヴェ 1822のオーナーであるパスカル・ラフィ氏およびボヴェの職人の皆様と初めて出会った日以来、デザインにおいても時計製造においても最高レベルを望むクライアントに向けて共に作品をつくり、刺激を与え合ってきました。今年後半にコラボレーション第一弾のタイムピースを発表し、職人が手掛ける時計製作の世界で、さらなる躍進を目指します」

ボヴェ 1822のオーナーであるパスカル・ラフィ氏は次のように述べています。「ピニンファリーナとの11年間のパートナーシップは、ボヴェ 1822の大切な基盤であり、アウトモビリ・ピニンファリーナとのコラボレーションによってその関係はさらに継続します。創業以来、私たちは設計、技術、エンジニアリングの分野で協力しつつ、ボヴェ 1822の職人技を活用してきました。私たちは会社は違っても同じ価値観を共有し、現在は両社とも未来を見据えています」

「世界はよりサステナブルになりつつあり、未来への鍵は間違いなく電気自動車にあります。美しいバットィスタの完成は大変喜ばしいことです。卓越したエンジニアリングと手作業で仕上げられたこだわりのディテールを併せ持つバットィスタは、ボヴェが誇る超高級時計のようです。バットィスタは圧倒的なデザインのハイパーカーであり、約1900馬力を発揮しますが、100%電気で駆動するサステナブルなクルマです。私たちは皆、こうした未来を目指す必要があります。新しい方法や材料、サステナビリティを考慮したプロセスの検討などの着想をアウトモビリ・ピニンファリーナから得ています」

「私たちは現在、バットィスタの記念プロジェクトに取り組んでおり、これまで私たちのタイムピースで使用したことのないコンセプトや形式を導入しています。バットィスタは近未来の車であるため、この素晴らしいパートナーシップに相応しいと思われるものすべてを駆使し、新境地を開拓します」

ピニンファリーナグループ代表のパオロ・ピニンファリーナ氏は次のように述べています。「2010年にスタートしたボヴェ 1822とのパートナーシップは、単なるコラボレーションではありません。我々は美しさ、テクノロジー、職人技への情熱をベースとす

るビジョンを共有しています。過去11年間に生まれた傑作は、そのビジョンをカタチにしたものであり、長い歴史と未来への熱い想いを通じて育まれてきた私たちの技の融合です。本日、私たちはアウトモビリ・ピニンファリーナの貢献により、私たちの物語に新たなページを刻めることを大変誇りに思います。新しいタイムピースが体現するスピリットは、アウトモビリ・ピニンファリーナがバットィスタに込めたコンセプトにつながるものです。優れたデザインと高性能を兼ね備え、サステナブルなアプローチで製作されます」

ボヴェ 1822とピニンファリーナS.p.A.との深いつながり

2010年にパスカール・ラフィ氏との初会合に臨んだパオロ・ピニンファリーナ氏は、彼こそ同じ価値観を持つ同志であると感じ、未来へのビジョンを共有しつつ、両社の輝かしい歴史を紡いでいくために協力し合うことをほぼ即座に決断しました。

そのパートナーシップは自社ブランドという枠を超え、当初から積極的かつ平等をコンセプトとし、それぞれの活動の制約を考慮しながらも、デザイナーと時計職人という特定の強みを活かすものでした。それが、熟練の技術、パフォーマンス、美しさを一切の妥協なく完璧に融合させるための唯一の方法であり、その方法でパートナーシップは今日まで継続されてきました。

この11年のパートナーシップを通じ、ボヴェ 1822とピニンファリーナは、ピニンファリーナのデザイン精神を盛り込み、ボヴェ 1822の歴史と伝統を受け継いだ最先端のタイムピースを数多く発表してきました。その中には「Ottanta」、「Ottantadue」、「Ottantatre」、「Ottantasei」、「Cambiano」、「Sergio」、「Novanta」がありました。

未来はすでに始まっている

アウトモビリ・ピニンファリーナとボヴェ 1822のパートナーシップは今後、ピニンファリーナとボヴェが紡いできた先駆的な物語を継続し、イノベーションとデザインのさらなる高みを目指して互いを鼓舞すると同時に、こうしたパートナーシップの在り方をさらに進化させていきます。アウトモビリ・ピニンファリーナとボヴェ 1822のコラボレーションによる新作タイムピースは今年後半に発表されます。

以上

プレス用問い合わせ先

Dan Connell

チーフ・コミュニケーション・オフィサー

(M) +49 (0) 160 553 0318

d.connell@automobili-pininfarina.com

詳細については、右記をご覧ください

automobili-pininfarina.com/media-zone

編集者の皆様へ

AUTOMOBILI PININFARINA BATTISTA

バットスタは、これまでにイタリアで設計・製造された車両の中で最もパワフルであり、内燃エンジン技術を搭載する現代の公道仕様スポーツカーでは達成できない水準のパフォーマンスを発揮します。0-100km/h加速は現行F1レースカーを凌駕する2秒未満、最高出力1900馬力、最大トルク2300Nmを誇り、ゼロエミッションパッケージで究極のエンジニアリングとテクノロジーを両立します。バットスタでは、各ホイールに装備された電動モーター計4基に120kWhバッテリーから給電されます。WLTPモードによるシミュレーションにて、1回の充電による航続距離は500km (310マイル)を超えます。イタリア・カンピアーノにあるピンファリーナS.p.A. (Pininfarina S.p.A.) のアトリエでは、150台限定のバットスタが一台ずつ手づくりされます。

AUTOMOBILI PININFARINAについて

アウトモビル・ピンファリーナは、ドイツのミュンヘンにある事業本部に拠点を置き、ラグジュアリー／プレミアム・カーブランドで豊富な経験を積んだ自動車エグゼクティブチームを擁しています。イタリア国内でデザインとエンジニアリングが行われ、手づくりされるハイパーGT「バットスタ」と今後の全モデルは、すべての主要グローバル市場で「ピンファリーナ」のブランド名で販売・整備されます。世界で最もサステナブルなラグジュアリーカーブランドを目指す新会社です。

同社はマヒンドラ&マヒンドラ社(Mahindra & Mahindra Ltd)が100%所有し、ピンファリーナS.p.A.とマヒンドラ&マヒンドラ社との間で商標ライセンス契約が締結されたことにより、アウトモビル・ピンファリーナと命名されました。ピンファリーナS.p.A.は、世界で最もアイコン的な車両の多くを手掛けてきたユニークな90年の経験に基づき、設計・生産能力をサポートする上で影響力のある役割を果たすこととなります。

BOVETIについて

約200年にわたってスイスに拠点を置くボヴェは、洗練を極めた時計製造技術に最高峰のクラフトマンシップを融合させ、職人技を駆使しつつ、最先端のデザイン、カラー、素材を使用しています。ボヴェのタイムピースはスイス国内で完全な手作業で製作されます。独自コンポーネントをすべて自社で製造し、手彫り、細密画、研磨、アングルなどの装飾を含め、組み立てもすべて自社で行います。ボヴェ1822はゼンマイと制御機構も自社で製作します。これが出来るのは、世界でもほんの一握りの時計メーカーだけです。こうすることでボヴェ1822は製作の全工程で品質を保証し、ディテールへの信じられないほどのこだわりを実現しています。

オーナーのバスカル・ラフィ氏はボヴェ1822の年間製造数を制限し、高水準の品質保証を実現しています。ひとつひとつのタイムピースはボヴェの職人の手で丁寧に製作され、スイスの時計づくりの伝統を継承しつつ、高級感と希少性を誇ります。進化を続けるボヴェは、新しいシステムや複雑な機構を生み出し、長いパワーリザーブをさらに伸ばし、スイス時計業界におけるその地位を確固たるものにしていきます。

PININFARINAについて

イタリアンスタイルの世界的アイコンであるピンファリーナは、エレガンス、純粋さ、革新性といった価値観を通じて時代を超えた美しさを生み出す唯一無二の存在として知られています。1930年に工房として創業したピンファリーナは、国際的なピンファリーナグループへと成長し、最高峰の自動車スタイリングを手掛ける一方、自動車以外にも様々な産業分野やエクスペリエンスデザイン、建築、船舶、モビリティなど、実用面でも確かな実績を示しています。グループの従業員は600名、イタリア、ドイツ、中国、米国にオフィスを構え、1986年から株式を上場しています。ピンファリーナは90年の歴史の中で1200台以上の車両と様々な分野の600以上のプロジェクトの設計に関わり、国際的な賞を多数受賞してきました。